

教育プログラム・コースの概要

大学名等	京都大学大学院医学研究科
教育プログラム・コース名	ライフステージに応じた最先端放射線治療の実現を担う医学物理士養成コース
対象者	医学専攻博士課程、 医科学専攻博士後期課程、修士課程 人間健康科学系専攻博士後期課程、修士課程
修業年限（期間）	4年 医学研究科 医学専攻 3年 医学研究科 医科学専攻 博士後期課程 人間健康科学系専攻 博士後期課程 2年 医学研究科 医科学専攻 修士課程 人間健康科学系専攻 修士課程
養成すべき人材像	○放射線品質管理、放射線治療計画、放射線治療関連機器のアクセプタンスおよびコミッショニングの実践力 ○ライフステージに応じた個別化がん放射線治療のための新技術の開発力およびその成果を臨床に展開できる技量 ○高度で安全な放射線治療を可能とするチーム医療に貢献できる責任感および協調性
修了要件・履修方法	<博士課程・博士後期課程> ○共通：大学院教育コース「医工情報学連携コース」6単位を取得すること。博士論文の審査及び試験に合格すること。京都大学医学部附属病院における臨床研修を修了すること。医学物理士資格を取得すること。 ○医学研究科 医学専攻：4年以上在学し、分野科目から24単位以上取得すること。 ○医学研究科 医科学専攻 博士後期課程：3年以上在学し、主科目から7単位以上取得すること。 ○医学研究科 人間健康科学系専攻 博士後期課程：3年以上在学し、分野科目から16単位以上取得すること。 <修士課程> ○共通：修士論文の審査及び試験に合格すること。 ○医学研究科 医科学専攻 修士課程：2年以上在学し、分野科目から30単位以上取得すること。 ○医学研究科 人間健康科学系専攻 修士課程：2年以上在学し、分野科目から30単位以上取得すること。
履修科目等	<共通> 臨床腫瘍学(4単位)、 チーム医療教育：放射線治療科カンファレンス等 <博士課程・博士後期課程> 大学院コースの医工情報学連携コース(6単位)、医学物理学特講(4単位)、医学物理学特講演習(4単位)、医学物理学特論(2単位)、医学物理学演習(2単位)他 <修士課程> 医学物理学特論(2単位)、医学物理学演習(2単位)、医学物理学実習(4単位)

教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	<p>○放射線治療関連機器導入から放射線治療計画、放射線品質管理までの一連のフローをon the job training形式により実施</p> <p>○職種横断的研修体制によるチーム医療教育の実施</p> <p>○京大病院がんセンター外来がん診療部集学的診療ユニットを活用した臨床研修体制</p> <p>○日本放射線腫瘍学会認定施設であり、ライフステージに応じた最適な高精度放射線治療を実施</p> <p>○認定機構が定めた教育カリキュラムガイドラインに準拠した講義・臨床研修体制</p> <p>○ライフステージに応じた照射技術の開発と臨床展開（小児およびAYA世代がん患者に対する二次発がんや有害事象発生率の軽減を、壮年期がん患者に対しては就労サポートを、高齢者に対しては低侵襲を目的とした照射技術の開発と臨床展開）</p>						
指導体制	<p>指導スタッフ：医学物理士、放射線治療医、診療放射線技師、看護師</p> <p>指導形式：多職種による横断的講義・on the job training形式の実習・研究開発</p> <p>指導内容：放射線治療学全般、放射線治療計画、放射線品質管理、ライフステージに応じた最先端放射線治療の研究開発および臨床展開</p>						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	<p>○大学病院、がんセンター、総合病院における医療専門職</p> <p>○大学の医学部・工学部、国研(放射線医学総合研究所など)における教育・研究職</p> <p>○国際原子力機関などの国際組織</p> <p>○国内外の医療機器企業</p>						
受入開始時期	平成29年6月、平成30年4月（修士）						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医学専攻 博士課程	1	0	1	0	1	3
	医科学専攻 人間健康科学系専攻 博士後期課程	1	0	1	0	1	3
	医科学専攻 人間健康科学系専攻 修士課程	/	1	0	1	0	2
	計	2	1	2	1	2	8